

# 平成30年度事業計画書

## 【概要】

淡路島くにうみ協会は、平成21年4月1日に財団法人淡路21世紀協会と財団法人淡路花博記念事業協会とが統合して発足した。

10年目を迎える平成30年度も、引き続きすべての島民の創意と行動力を結集して「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」を目指して、「淡路を担う人づくり」「花と緑豊かな環境づくり」「活気あふれる地域づくり」「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進する。

## 【事業の内容】 ( )内は予算額

### I 淡路を担う人づくり

#### 1 淡路島くにうみ講座 (4,294千円)

淡路島の個性を生かし、淡路島の良さを島内外に発信することができる島民を育てるため、淡路島の歴史、文化などへの理解を深める講座を開催する。

《実施回数》

- ・6回程度

#### 2 永田青嵐顕彰全国俳句大会 (2,648千円)

淡路島出身の偉人、永田青嵐を広く全国に周知するとともに、文化を通じてふるさと意識の高揚を図るため、第10回となる全国俳句大会を実施する。

《実施スケジュール》

- |          |            |
|----------|------------|
| ・投句募集    | 平成30年6月～9月 |
| ・表彰式等    | 平成31年2月    |
| ・俳句入門講座等 | 4回程度       |

#### 3 花づくり人材育成事業 (2,314千円)

##### (1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会を開催する団体等に花づくりの専門家を派遣する。

- ・講師の派遣 概ね13回(NPO法人あわじ緑花協会に委託)
- ・派遣対象 自治会、花づくりグループ等

##### (2) あわじ花と緑のコンクール

個人や花づくりグループ、学校、職場等を対象に、花や緑を大切に育てている活動の成果を競うコンクールを実施する。

##### (3) まちづくりガーデナー奨励事業(仮称)【新規】

景観園芸学校の「まちづくりガーデナー本科コース」等で学び、淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため「まちづくりガーデナー」として知事認定を受けた者に受講料の一部を助成する。

##### (4) 若手景観園芸人材育成支援事業

景観園芸を学ぶ若者の海外施設での高度な植栽管理等を学ぶ短期研修に係る経費の一部を助成する。

## II 花と緑豊かな環境づくり

### 1 淡路花祭（18,970 千円）

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため、関係機関・団体と連携・協働し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催する。

#### (1) 淡路花祭 2018 春

- ・期 間 平成 30 年 3 月 17 日～5 月 27 日
- ・オープニング会場 淡路市

《主要事業》

- ・花と緑の講演会
- ・お絵かき花壇づくりコンテスト
- ・花物語クイズラリー
- ・花と緑の写真教室

#### (2) 淡路花祭 2018 秋

- ・期 間 平成 30 年 9 月～11 月
- ・オープニング会場 洲本市

#### (3) 冬咲きチューリップショー

花の少ない冬季に、新たな花の名所づくりを目的として冬咲きチューリップショーを開催する。

- ・期 間 平成 31 年 1 月～2 月
- ・場 所 洲本市民広場

#### (4) 淡路花祭 2019 春

- ・期 間 平成 31 年 3 月～5 月
- ・オープニング会場 南あわじ市

### 2 花街道づくり事業（3,240 千円）

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花による街道づくりを実施する団体に対し上限 20 万円の助成を行う。

### 3 あわじ花へんろ事業（5,106 千円）

花の島・淡路島の魅力を満喫していただくため、淡路島の花の名所、景勝地、観光施設等 71 箇所の「花の札所」についてスタンプブック等を作成するなど情報を広く発信する。

《事業内容》

#### (1) 花の札所拡充事業助成

「花の札所」としての魅力向上に取り組む札所を支援するため、整備等について上限 20 万円の助成を行う。

#### (2) 「花の札所」開花状況等情報提供促進奨励金

「花の札所」を PR するために発行する「花の札所 花だより」に情報提供を行う施設に対して奨励金を交付する。

#### (3) 連絡会の開催

あわじ花へんろ事業の推進について意見交換を行う連絡会を開催する。

（連絡会の構成：「花の札所」管理者、淡路県民局、3 市、淡路島くにうみ協会）

#### (4) 広報

ホームページによる情報発信、ポスターの製作・配布、「花の札所 花だより」の発行等を行う。

#### 4 環境美化事業（547 千円）

「淡路島環境美化月間」、「淡路全島一斉清掃の日」活動に協力し、その広報、普及啓発活動を実施する。

### Ⅲ 活気あふれる地域づくり

#### 1 地域活性化助成事業（4,000 千円）

淡路島の活性化を図るまちおこし事業、文化・芸術事業、地域交流事業等のソフト事業又は国生み神話、御食国、日本遺産など「国生みの島」に関連した事業を実施しようとする団体に対して上限 20 万円の助成を行う。

#### 2 淡路島誘客支援事業（6,150 千円）

「あわじ環境未来島構想」の取組や環境保全への取組を学ぶ学習ツアーを、貸切バスを利用して実施する団体へ経費の一部助成を行う。また、淡路島名誉大使の桂文枝さんを起用した誘客キャンペーンを県民局等関係団体と連携して実施する。

《内容》

##### (1) あわじ環境未来島バスツアー助成事業

「あわじ環境未来島構想」の関連施設や環境学習施設にて各施設の取組や環境保全への取組を学習するバスツアーへの助成

- ・日帰り バス 1 台当たり上限 2.5 万円
- ・宿泊 バス 1 台当たり上限 5 万円

##### (2) 淡路島誘客キャンペーン

- ・淡路島名誉大使 桂文枝さんを起用した誘客 CM の製作、放送等を行う。

#### 3 淡路島インバウンド対応推進事業（1,500 千円）【新規】

県民局等関係団体と連携してファミトリップやツーリズム EXPO ジャパン 2018 への出展を行うなど淡路島の魅力的な情報を国内外へ発信し、訪日外国人客の淡路島への誘客を促進する。

#### 4 淡路島ブランド広域推進助成事業（1,500 千円）

淡路島内の広域的な地場産品を利用して、魅力ある「淡路島ブランド」を創出・育成し、広域的な協力のもとに事業展開をする者に対して上限 50 万円の助成を行う。

#### 5 活力創生プロジェクト支援事業

##### (1) 淡路島ロングライド 150 支援事業（3,080 千円）

秋に開催を予定している「淡路島ロングライド 150」の実行委員会に参画し、その経費の一部を負担するとともに、県及び淡路 3 市と協力して 4 箇所のエイドステーション（休憩所）で淡路島の食材を使ったふるまい等を行う。

##### (2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

本四道路活用イベント実行委員会に参画し、地域の魅力発信のためのイベントを実施する。

###### ア 明石海峡大橋海上ウォーク

明石海峡大橋の管理用通路歩行

《実施予定日》 未定

###### イ 大鳴門橋うずしおウォーク

民間会社との連携による大鳴門橋の管理用通路歩行

《実施予定日》 未定

- (3) 神戸淡路鳴門自動車道全通 20 周年記念事業 (500 千円) 【新規】  
「神戸淡路鳴門自動車道全通 20 周年記念事業実行委員会」に参画し、記念事業実施のポスター、イベントガイドブック作成等広報関係にかかる費用を負担する。
- (4) 広域連携イベント等支援事業 (4,000 千円)  
淡路全島の行政、各種団体等が参画して実施されるスポーツ等のイベント、島外での淡路島の PR、自然環境保全の取組などを支援する。
- (5) Awaji Art Circus 支援事業 (250 千円)  
海外アーティストによる淡路島の地域資源も活用した国際アートフェスティバルの開催を支援する。
- (6) 淡路島公園アニメパーク「ニジゲンノモリ」への参画 (10,000 千円)  
県立淡路島公園において、民間の知識と技術、創造力、活力を活かして推進されているアニメパーク「ニジゲンノモリ」に参画し、県、園芸・公園協会と連携の上、運営会社に出資を行う。
- 6 フィルムオフィス事業 (6,000 千円)  
淡路島内での映画、テレビ、CMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネート、エキストラの手配、撮影スタッフの宿泊斡旋等の支援を行っている「淡路島フィルムオフィス」の運営経費を負担するとともに、その事務局を運営する。
- 7 「永田秀次郎の人生」ドキュメンタリー映像制作支援事業 (1,000 千円) 【新規】  
1940 年の幻のオリンピック招致などに功績のある淡路島の偉人、永田秀次郎氏のドキュメンタリー映像の制作を県民局や関係団体とともに支援する。
- 8 淡路島日本遺産推進事業 (1,900 千円)  
平成 28 年 4 月に認定された淡路島日本遺産の認知度を高め、交流人口の増加による地域活性化に寄与するため島内 3 市、県民局等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、事業を推進する。
- 9 「食」専門職大学検討事業 (402 千円) 【新規】  
淡路地域における「食」にかかわる包括的かつ実践的な高等教育機関としての専門職大学開設に向け、基本計画の策定やカリキュラム内容等を検討する開設準備推進委員会に参画する。
- 10 パリ“ジャポニスム”での淡路島プロモーション事業 【新規】  
パリで開催される日本文化紹介行事“ジャポニスム 2018”に淡路人形浄瑠璃が出展するにあたり、淡路島へのインバウンド誘客プロモーションを県民局や関係団体と連携して実施する。

#### IV あわじ環境未来島構想の推進

恵まれた特性を有しながら、人口減少・経済縮小等の課題に直面する淡路島で、地域資源を生かして、「生命つながる持続する環境の島」を目指す「あわじ環境未来島構想」の実現に向けて、県・市・住民・地域団体・企業等と協働して取り組む。



#### 【取組の3本柱と地域の将来目標】

- あわじ環境未来島構想推進協議会の運営（1,900千円）  
住民、地域団体、NPO、企業、行政等が幅広く参画する協議会を設置・運営する。
- あわじ環境未来島構想の啓発推進（2,000千円）  
構想の意義や取組についてセミナーの開催やホームページ、小学生用副読本等により広く周知啓発を行い、島民自らが持続可能な地域づくりへ取り組む機運を醸成する。
  - あわじ環境未来島構想見学セミナーの開催  
構想のより一層の普及啓発を図るため、あわじ環境未来島構想に基づき島内で展開されているプロジェクト現場等を見学するセミナーを開催し、構想の意義や取組について啓発する。
  - あわじ環境未来島副読本の作成  
副読本を小学生高学年等に配布し、総合学習などの授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとする。
  - あわじ環境未来島情報発信事業  
「あわじ環境未来島構想」専用ホームページの維持管理を行う。
- 「EVアイランドあわじ」推進事業（6,780千円）【拡充】  
電気自動車（EV）が安心して走行できる環境であることを島内外に広く発信し、全県に先駆けたEV導入モデル地域として、「EVアイランドあわじ」の推進を図る。

(1) EV タクシー・レンタカー導入補助 【拡充】

島内のタクシー、レンタカーを対象として、EV 車体導入補助に加え、EV 車体リース料補助も行うことで、更なるEV の普及促進を図る。

(2) EV 用充電器設置補助 【拡充】

EV 導入促進及び超小型EV の充電インフラ整備を図るため、充電器の設置に対して、設置基数を拡充し、補助を行う。

(3)EV アイランドあわじ推進協議会の運営

EV アイランドあわじの推進を図るための普及啓発及びEV 用充電器の利活用等に向けた協議、並びに情報交換を行う場として、協議会を設置・運営する。

4 淡路島 農と食の体験ツアー (1,000 千円)

島内外の一般消費者及び農と食に関心のある親子等を対象に、農作物のブランド化などの取組を進める農業生産法人等への現地見学や農業体験等ができる体験ツアーを開催し、「農と食の持続」を推進する。

5 竹資源供給体制整備モデル事業 (3,000 千円) 【拡充】

竹チップの需要拡大に対応するため、地域住民等（昨年度から継続して取り組んでいる地域団体にに加え、新規の地域団体も対象）が自ら行う竹林整備活動等に対して、資機材費などの支援を行う。

6 エネルギーの地産地消促進事業（家庭用蓄電池の導入支援）(4,500 千円) 【拡充】

太陽光発電の自家消費対策として対象者の範囲をネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化する島民から家庭用蓄電池を導入する島民に拡大し、費用の一部を支援することにより、家庭部門におけるエネルギーの地産地消を促進する。

7 地域新電力事業による電力地産地消に向けた検討会の開催（150 千円）【新規】

エネルギーの地産地消の推進や地域の活性化の促進が期待できる地域新電力事業について検討会を開催し、淡路地域における地域新電力事業の実現可能性を探る。

8 住民参加型太陽光発電事業（住民参加型くふうみ太陽光発電所）(52,614 千円)

県立淡路島公園隣接用地に建設したメガワット級（約1 MW）の太陽光発電施設を運用し、売電事業を行う。

**V 普及啓発** (12,000 千円)

当協会が実施する事業を広報するとともに「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」にふさわしい淡路島のイメージを島内外に広く発信する。

1 ホームページの運営

当協会のホームページの運営を行う。

2 協会広報紙の発行

当協会の概要や事業を紹介する広報紙を作成し、配布する。

3 各種媒体を使った広報

花カレンダーを作成し、会員、関係機関等に配布するとともに、各種媒体を通じて広報を行う。

4 事業への協賛

行政機関、各種団体等が実施する事業に協賛する。

5 全国ふるさと甲子園

「映画やドラマのロケ地」と「ご当地グルメ」をテーマに、どれだけ多くの方がその地域を訪れたいかを競うイベントに（一社）淡路島観光協会、淡路県民局、淡路島フィルムオフィスと共同で出場する。

6 その他

平成 31 年 4 月に淡路島くにうみ協会設立 10 周年を迎えることから、記念事業の実施を検討する。また、淡路花博 2020 花みどりフェアの開催についても関係団体と検討を進める。